

青年部広報誌

がんらい

第119号

平成27年11月発行



県青連野球大会 4ブロック大会決勝進出!!

しかし……惜しくも県大会出場ならず

6月から約3ヶ月に渡り行われた、県青連野球大会。去年は第4ブロック大会準決勝まで進みましたが、久喜市商工会青年部に敗れています。

今年こそ久喜にリベンジして、決勝進出を、そしてその先の県大会、関東大会進出をと、みんな燃えています。

今年規約の改正により青年部の卒業が45才になり、卒業する予定だった青田、並木両先輩が残る事となり、リベンジの舞台も整いました。

まず、6月18日の1回戦、幸手市商工会青年部戦、先発の川野君が、立ち上がりから先制点を取られる苦しい展開でしたが、四球をきっかけに逆転、4対2と逆転勝ちを収めました。

続いて、7月30日の2回戦、白岡市&杉戸町商工会青年部の合同チームが相手。前回の反省が活きている



今年、初参加の大室くん、日下部君

のか、立ち上がりから打線が繋がりに、6点の大量リードを奪い楽勝ムードでしたが、エラーをきっかけに追い上げられ、9対7でなんとか勝ちを収めました。こんな事では先の久喜戦が思いやられます。

そして8月20日、準決勝を迎えました。

対戦相手は久喜市商工会青年部、去年と同じカードです。

今回も、先制を許し、常にリードを許す苦しい展開。しかし徐々に追い上げ、最終的に集中打により2点を返し同点、そして青田君のヒットにより見事サヨナラ勝ち、とうとう久喜にリベンジを果たしました。

これで、何年振りか忘れるくらい久しぶりの決勝進出です。



金子キャプテンより、緊張のスタメン発表!!

そして9月2日、とうとう決勝を迎えました。

相手は八潮市商工会青年部です。

立ち上がりは投手戦の締まった展開、大木君が素晴らしいピッチングです。そして4回裏ついに須藤君の義飛により1点を先制。

しかしそこから、八潮の粘り強い反撃を受け逆転を許し、そのまま試合終了、残念ながら県大会進出はなりませんでした。

しかし、久喜戦で見せた粘り強さで、来年こそは八潮にもリベンジを果たしましょう。

最後に宮代を1つにまとめ上げた金子キャプテン、本当にお疲れさまでした。

伊草

「らき☆すた」から学ぼう!



青年部研修事業
アニメ「らき☆すた」の聖地、鷺宮を訪問



7月23日(木)、アニメ「らき☆すた」を活用し、町おこしに成功している久喜市を訪れました。
その原動力となっているのが、久喜市商工会青年部鷺宮支部の皆様です。
宮代町には、町の応援ヒーローであるハナレンジャーがいます。
そこで、そうしたキャラクターをどのように活用したらいいのか。今後の活動の参考にしたいと考え、本事業の実施に至りました。



旧鷺宮町には、鷺宮神社を中心に栄えた門前町商店街がありました。時代とともに衰退していく商店街を見かねて「鷺宮の町おこしは門前町から」と思い立ったそうです。
そこで、一軒の古民家を茶屋として改装し、鷺宮神社へ参拝に訪れる方をもてなそうと考えました。すると、その景観を気に入った「らき☆すた」の作者が象徴的な場所として作中に描いたことから、多くのファンから聖地として崇められるようになり、鷺宮神社への参拝者が激増しました。

原点は地域の文化

確固たる理念が必要



私たちも今一度、町おこしとは何か?を問いかけてみる必要があると感じました。「鷺宮の町おこしは門前町から」といった鷺宮の事例のように、まずは確固たる理念こそが、必要なのではないでしょうか。
私たちは、宮代の歴史や文化を今一度見つめ直し、確固たる理念のもと、宮代の新しいまちづくりの原動力となることを志していきたくと考えています。
今回の研修はたいへん参考になりました。有意義なものとなりました。久喜市商工会青年部鷺宮支部の皆様ありがとうございました。

総務研修委員長 合川

自己研鑽を重ねながら日々前進 宮代の明るい未来のために